

高山寺の姉妹教会

イタリアのアッシジにある聖フランチェスコ大聖堂は、教皇ヨハネ・パウロ二世の祝福を受けて 1986 年に高山寺の姉妹教会となったが、異なる宗教を代表する二つの宗派がこのように結び付くのは珍しいことである。

その鍵となる聖フランシス(1182~1226 年)と明恵(1173~1232 年)は、個人としても彼らの精神性においても共通点が多いと考えられた。二人とも孤独な修行を好み、世俗的な繁栄を拒絶し、自然を尊んだ。高山寺は、明恵の頭上を鳥が飛び彼が木で瞑想している絵を所蔵しており、聖フランチェスコ大聖堂は、鳥に説教する聖フランシスの絵を所蔵している。

高山寺とアッシジの聖フランチェスコ大聖堂との繋がりには、遠く離れて生きながらも興味深くも似通った人生を送った二人の男性に敬意を表している。